

しもとくサポート通信 No.1



平成 28 年 5 月 27 日 発行
 下妻特別支援学校地域支援相談センター
 文責 中田、藤田

本校は、今年度も「特別支援教育のセンター的役割を果たし、保護者や地域とともに歩む学校」を目指しています。地域との連携・共同しながら実施する主な行事や肢体不自由特別支援学校ならではの情報を提供いたします。

1 各市町教育委員会との連携の基に実施する教育相談

項目(行事)	主な実施内容
体験入学 ① 7/12 (火) ② 7/21 (木) ~ 8/ 3 (水) ③ 9/13 (火) ④ 10/ 3 (月) ⑤ 11/ 3 (木)	<各市町教育委員会をとおして、お申込みください> ①学校紹介, 体験入学について説明 ②個別の就学相談 ③④授業体験, 給食体験, 食事相談, 個別の就学相談 ⑤下特スマイルフェスタ(駐車券発行)
転入学に関する教育相談(随時) 体験学習	・小・中学校, 特別支援学校に在籍する児童生徒の教育相談 ・進学, 転学に向けての授業体験及び学校生活体験



2 地域の皆様向けに公開及び支援活動, 相談事業を実施

項目(行事)	主な実施内容
学校公開 ① 7/ 5 (火) ② 11/8, 9, 11	<電話または, FAX 等でお申込みください> ○授業公開・学校紹介 給食参観・ケース相談会(希望制) ※児童生徒の作品や教材資料等の展示も行います。 ○シンポジウム(11/8)
ふれあい教室 ① 7/22 (金) ② 11/17 (木)	<電話または, FAX 等でお申込みください> ○未就学児及び保護者, 療育担当者を対象とした事業です。 ○参加者, 本校の教職員等と遊びを通して交流を図ります。 ○レクリエーション・情報交換・学校紹介や授業見学も行います。



※詳しくは本校までお問合せください。TEL0296-44-1800 FAX0296-43-9174 (担当:コーディネーター牛久)

3 しもとくサポート情報コーナー

『いるいるな車いす』

今回は、本校の児童生徒が使用している車いすについて紹介します。大きく分けて2つの型があり、自操型(自分でこぐタイプ)と介助型があります。自操型には手で操作するため「ハンドリム」と呼ばれる大きなリングがタイヤの外側に付いているものや、電動で操作するコントローラーがついているものがあります。介助型は後方に介助者が持つハンドルなどが付いています。また、車いすはサイズや形も様々です。一人一人の身体に合ったものを使用しており、姿勢を保持する座位保持機能付きのものもあります。ヘッドレストを付けたり、背中や腰の形に合わせて型をとって作ったり、シートの張りで身体に合わせたり、胸や腰にベルトを付けたりして、長い時間座っても身体への負担が少なく、安定した姿勢がとれるよう工夫されています。その他、背もたれを倒すリクライニング、座ったまま身体の角度を変えるチルト機能などが付いているものもあります。

